



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 前澤化成工業株式会社
 コード番号 7925 URL <http://www.maezawa-k.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理本部長 (氏名) 伊東 正博

TEL 03 5962 0711

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,166	2.2	15	86.1	95	47.1	50	50.2
29年3月期第1四半期	5,053	7.1	110	55.3	180	46.3	102	50.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 155百万円 (%) 29年3月期第1四半期 64百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	3.37	
29年3月期第1四半期	6.77	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	44,322	36,528	82.4
29年3月期	44,721	36,599	81.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 36,528百万円 29年3月期 36,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		15.00		15.00	30.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,800	10.6	630	18.4	730	13.9	470	16.6	31.18
通期	24,700	12.5	1,370	51.5	1,550	38.9	1,000	63.9	66.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	15,732,000 株	29年3月期	15,732,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	660,909 株	29年3月期	660,849 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	15,071,098 株	29年3月期1Q	15,071,231 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部改善の遅れもみられるものの、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループと関連の深い上水道・下水道業界および住宅機器関連業界におきましては、新設住宅着工戸数が前年と概ね同数となり、底堅く推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、当期が最終年度となる中期経営計画「CHALLENGE2017」の達成にむけ順次取り組んでいるところでございます。

当第1四半期連結累計期間におきましては、管工機材分野における住環境改善製品の拡販が進み売上の伸びを牽引したものの、同分野の主要原材料である塩化ビニル樹脂の値上げや各種プラスチック成形分野の不振により営業減益となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は51億66百万円(前年同四半期比2.2%増)、営業利益15百万円(同86.1%減)、経常利益95百万円(同47.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益50百万円(同50.2%減)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①管工機材分野

管工機材分野におきましては、「グリーストラップ」や「量水器ボックス」等付加価値の高い製品を中心に販売を推し進めセグメント全体で売上高は増加した一方で、主要原材料である塩化ビニル樹脂の値上げの影響により利益は大幅に減少いたしました。

新規事業分野向けの製品である災害対応製品「エモータブル」については、大口の顧客を中心に開拓に努めており、また、ビル設備対応製品「ビニコア」については、採用実績を着実に重ね販売は拡大傾向であるものの、計画通りの業績を上げるには至っておりません。

以上により、売上高47億34百万円(前年同四半期比2.8%増)、セグメント利益は1億4百万円(同43.1%減)となりました。

②水処理分野

水処理分野におきましては、低コスト・省エネルギー化を実現する排水処理システム「アジティス」をはじめとする多様な水処理システムの積極的な提案活動を行ってまいりました。当四半期においては、メンテナンスの受注が堅調に推移し売上高は前年同四半期を上回ったものの、大型物件の売上が無く、依然として厳しい状況が続いております。

以上により、売上高は65百万円(前年同四半期比51.6%増)、セグメント損失は54百万円(前年同四半期は、59百万円のセグメント損失)となりました。

③各種プラスチック成形分野

各種プラスチック成形分野におきましては、新規顧客の開拓および既存顧客の収益拡大を図り一定の成果があったものの、部材を納入していた一部大口顧客のプラスチック製品の生産終了や販売不振をカバーできず、売上高が減少いたしました。

また、売上の減少にともない原価率が上昇し利益も減少いたしました。

以上により、売上高は4億19百万円(前年同四半期比3.6%減)、セグメント損失は33百万円(前年同四半期は、13百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ3億99百万円減少し、443億22百万円となりました。これは主として、現金及び預金や商品及び製品が増加したものの、有価証券が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ3億28百万円減少し、77億93百万円となりました。これは主として、その他に含まれている未払費用が増加したものの、その他に含まれている未払消費税等や未払金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ70百万円減少し、365億28百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が増加したものの、利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,097	9,616
受取手形及び売掛金	5,798	5,560
電子記録債権	2,750	2,632
有価証券	2,313	1,413
商品及び製品	2,174	2,306
仕掛品	588	684
原材料及び貯蔵品	595	697
繰延税金資産	264	310
その他	547	655
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,129	23,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,953	12,973
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,756	△5,869
建物及び構築物（純額）	7,196	7,104
機械装置及び運搬具	12,261	12,324
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,101	△10,241
機械装置及び運搬具（純額）	2,160	2,083
工具、器具及び備品	17,940	18,000
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,565	△17,567
工具、器具及び備品（純額）	374	432
土地	4,543	4,543
建設仮勘定	204	55
有形固定資産合計	14,479	14,218
無形固定資産		
ソフトウェア	365	342
その他	2	2
無形固定資産合計	368	344
投資その他の資産		
投資有価証券	5,066	5,207
その他	827	822
貸倒引当金	△150	△150
投資その他の資産合計	5,743	5,880
固定資産合計	20,591	20,443
資産合計	44,721	44,322

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,584	3,567
電子記録債務	132	134
短期借入金	500	500
未払法人税等	286	157
賞与引当金	405	220
役員賞与引当金	42	11
その他	2,221	2,257
流動負債合計	7,173	6,848
固定負債		
繰延税金負債	265	265
役員株式給付引当金	—	0
退職給付に係る負債	400	395
資産除去債務	210	210
その他	72	72
固定負債合計	948	945
負債合計	8,122	7,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,363
利益剰余金	26,777	26,602
自己株式	△750	△750
株主資本合計	35,777	35,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,031	1,128
退職給付に係る調整累計額	△209	△201
その他の包括利益累計額合計	821	926
純資産合計	36,599	36,528
負債純資産合計	44,721	44,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,053	5,166
売上原価	3,447	3,620
売上総利益	1,605	1,546
販売費及び一般管理費	1,495	1,531
営業利益	110	15
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	36	36
受取賃貸料	22	22
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	13	23
営業外収益合計	73	84
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	0	1
賃貸費用	2	2
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	3	4
経常利益	180	95
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	4	0
減損損失	1	—
リース解約損	0	—
特別損失合計	6	0
税金等調整前四半期純利益	174	94
法人税、住民税及び事業税	97	134
法人税等調整額	△25	△90
法人税等合計	72	43
四半期純利益	102	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	102	50

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	102	50
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△178	96
退職給付に係る調整額	11	7
その他の包括利益合計	△166	104
四半期包括利益	△64	155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64	155

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	4,603	43	407	5,053	—	5,053
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	27	27	△27	—
計	4,603	43	434	5,081	△27	5,053
セグメント利益又は 損失(△)	183	△59	△13	110	△0	110

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種プラスチック 成形分野	全社・消去	合計
減損損失	—	1	—	—	1

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	4,734	65	367	5,166	—	5,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	51	51	△51	—
計	4,734	65	419	5,218	△51	5,166
セグメント利益又は 損失(△)	104	△54	△33	16	△0	15

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。